

## 宇部常磐会の皆様へ

平成 28 年 3 月  
宇部高専 一般科、体育  
中村 貢治

### 定年退職について

平成 28 年 3 月末日にて宇部高専を定年退職することになりました、一般科・体育の中村貢治です。昭和 59 年 4 月に宇部高専に赴任、32 年間皆様には大変お世話になりました。一言お礼のご挨拶をさせていただきます。

赴任した当時、一般科・体育の中山克彦先生（大学の先輩）と同じ研究室で学生指導や研究、クラブ活動、学校の仕事など多くのことをご指導いただきました。

宇部高専の学校は、機械 2 クラス・電気・工業化学科の 3 学科で男子学生がほとんどで、女子学生は工業化学科（現在の物質工学科）に数人でした。32 年間で、学校も大きく変わってきました。機械工学科 2 クラスから 1 クラスが制御情報工学科になった事や専攻科ができた事など多くありますが、特に、平成 4 年に経営情報学科ができたことで女子学生が急激に増えたこと。宇部高専の歴史からすると大きな変化だったと思います。この変化で「中村個人の感想」一番変わったことは、男子学生（特に男子寮生）の服装に変化がありました。それまでは、寝起きのジャージ姿や短パン、ランニングシャツで学寮から学校に登校していた男子学生が女子学生を気にしだすことで。普通の洋服を着て登校するようになったことです。

学寮は、全寮制であり 1、2 年生は全員寮生活を行っていました。当時の学生は上級生、下級生の上下関係が確立しており 1、2 年生の早朝体操では筋肉痛で階段を上がるのに下級生は苦勞していたのを記憶しています（全寮制で寮生活を体験した寮生しかわからないと思います）。

クラブ活動については、30 年間男子バレーボール部の顧問をしてきました。クラブ部員と一緒に中国大会や全国大会に向けて練習をし、楽しい時間を過ごすことができ部員に感謝しています。

定年退職にあたり、多くの思い出を作ってくださった卒業生や教職員の皆様に感謝しています。また、卒業生が学校に帰ってきて中村研究室に遊びに来てくれます。学生の際は社会人としてやっていけるのか不安な気持ちで送り出した学生が、会社で立派な仕事をしている事を聞くのが一番うれしい瞬間です。